



MISATO Town Assembly

議会だより

2015 **10** No.36

発行／宮崎県美郷町議会
編集／議会広報特別委員会

〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代1
TEL(0982)66-3607 FAX(0982)66-3137



西郷花水流地区



目次

- 9月定例会……………2～4P
- 一般質問 8名登壇……………5～8P
- 議会活動・編集後記……………9～10P

平成27年度補正予算の概要

会計別	補正予算額	補正後予算額	
一般会計	1億3,375万円	88億1,087万円	
特別会計	国民健康保険事業	1,564万円	13億106万円
	介護保険事業	1,307万円	10億5,841万円
	簡易水道事業	1,112万円	3億1,922万円
	農業集落排水事業	892万円	1億3,388万円
	後期高齢者医療事業	368万円	2億3,007万円
	国民健康保険診療所事業	1,800万円	3億4,434万円
	国民健康保険病院事業 (収益的収支)	261万円	6億3,434万円
	国民健康保険病院事業 (資本的収支)	7万円	5,558万円

《一般会計歳出の主なもの》

- 清翠園身障者用トイレ工事費（耐火構造シャッター等追加）……………1,631千円
- 森林整備加速化・林業再生事業補助金……………16,425千円
（高性能林業機械の導入により、林業作業の低コスト化・効率化を図る）
- 町有害鳥獣対策協議会運営補助金（有害鳥獣捕獲出動経費）……………11,952千円
- 美郷町情報発信事業……………4,595千円
（マスコットキャラクター及び観光ポスター制作事業・観光情報センター駐車場整備事業等）
- 北郷地区観光施設管理運営費（稚野あじさい改植事業補助金・地蔵の里駐車場舗装工事）6,035千円
- 林道施設災害復旧事業費（6月・7月豪雨災害による復旧工事）……………35,000千円

■ 条例制定 ■

◆美郷町特定個人情報保護条例

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の施行（平成27年10月5日）に伴い、美郷町における特定個人情報の安全かつ適正な取り扱いを図ることを目的として制定するもの。

◆美郷町空家等対策の推進及び空家等の活用に関する条例

平成27年5月に全面施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」を受け、美郷町における空家等対策の推進及び空家等の活用促進を図ることにより、安全かつ安心な生活環境の確保とまちづくりの活性化に寄与することを目的として制定するもの。

■ 追加議案 ■

◆工事請負契約の締結について

防災行政無線（デジタル移動系）及び消防救急無線施設整備工事

《契約の相手方》宮崎市 日本電気株式会社宮崎支店 《契約金額》4億5,315万円

第1回臨時会 平成27年8月3日

○議案第61号 財産の無償貸付について

地域活動の拠点となるコミュニティーセンター所有のために、町有地（西郷田代8824番地 雑種地2,083平方メートル）をセンター敷地として、和田区へ無償貸与するもの。貸付の期間は、平成27年8月10日～平成47年8月9日。

提出された議案と審査結果

【第1回臨時会 8月3日】

議案番号	議案名	審査結果
議案第61号	財産の無償貸付について	可決（全員一致）

【決算認定】平成26年度歳入歳出決算

会計別	歳入	歳出	
一般会計	90億8,275万円	89億613万円	
特別会計	国民健康保険事業	12億1,199万円	11億9,636万円
	介護保険事業	10億297万円	9億9,779万円
	簡易水道事業	2億7,730万円	2億6,418万円
	農業集落排水事業	1億3,541万円	1億2,449万円
	後期高齢者医療事業	2億2,377万円	2億2,283万円
	国民健康保険診療所事業	3億4,926万円	3億2,033万円
	国民健康保険病院事業 (収益的収支)	6億8,566万円	7億759万円
	国民健康保険病院事業 (資本的収支)	2,560万円	4,334万円
合計	129億9,467万円	127億8,300万円	

上記8件の決算認定について「決算等審査特別委員会」を設置し審査した結果、原案のとおり認定すべきものと決定しました。なお、審査意見として8項目を付記しました。

- ①合併10周年を迎えた現在の財政状況を見ると、実質公債費比率を20.6%から7.6%に引き下げたことは特筆すべき結果である。今後とも将来を見据えた財政運営を求める。
- ②収入未済額については、一部家畜導入資金貸付金返還等改善の努力も見られる。一方依然として多額の未収債権がある。今後は、根拠となる法令や執行手続きに基づき、公平、公正な観点で適正かつ迅速な債権回収を求める。そのためにも、未収債権対策の体制の見直しや、連帯保証人をおいている場合は、要綱等に沿って保証人への催促を強化するよう求める。
- ③農産物と植栽樹木等の被害の抑止、防止のための獣害対策と住民の生命を守るための狂犬病予防注射の接種について、互いに所期の目的達成に向けて相乗効果が上がるよう町民生活課と林業振興課との連携強化と獣害対策の効果を上げるための鳥獣被害対策支援センターとの積極的な連携を図るとともに、県職員との積極的な交流を求める。
- ④本町農林業を支える担い手を確保することは、町の最重要課題である。これまでの美郷町新規就農給付金事業は、着実な実績を残している。今後とも、最優先事業として継続し、さらに給付要件等本町の実状に応じた担い手対策を講じていくことを強く求める。
- ⑤買い物弱者対策は生活支援にとどまらず、安否確認等多面的な役割を果たしているのが現状でニーズも拡大してきているため、今後も支援が必要だと考える。その上で、さらに事業受託者等と持続可能な体制づくりの検討を求める。
- ⑥近年、婚活支援はデリケートな問題であるが、昨年度の「出会いの場」創出事業は、特筆すべき着実な成果を上げている。今後とも継続事業として、参加者の気持ちに寄り添い、参加しやすい「出会いの場」をつくっていくよう切望する。
- ⑦非常備消防の体制のもと、住民の生命を守るため、今年度から救急救命士の配置による救急業務実施に至った。住民の「安心」ということから大いに評価できる。加えて救急救命士の町内各種イベントにおける参加等その真摯な姿勢に敬意を表する。
- ⑧年々、町行政に対しての様々な相談や要望事項は、各方面にわたり増加の傾向にある。これらの処理にあたっては、各課とも住民の信頼を得られる処理をすることが肝要である。今後も複雑多様化する住民の相談、要望、陳情等の対応方法について、信頼される処理や記録管理を求める。



北郷小中一貫校整備事業
(平成27年4月開校・美郷北学園)

9月
定例議会

平成27年9月定例議会は、9月4日（17日）までの14日間開催され、平成26年度決算認定ほか平成27年度一般会計及び特別会計補正予算等27件の議案等が提出され、いずれの議案も原案のとおり可決しました。主な内容は、次のとおりです。

町政を問う

一般質問

平成27年第3回定例会の一般質問は、9月7日、8日の2日間にわたり、8名の議員が行いました。

本定例会での主な質問と答弁の内容は、次のとおりです。

【答】基本設計中で、敷地状況を含めて検討する。基本は地域住民が利用しやすい庁舎、また、事務効率が高まるように基本設計をする。さらに町産材の利用も検討し

【問】役場庁舎建設について
敷地は現状のまま使用するか。また、庁舎建設をどのように考えているのか。

【答】平成二十八年度の医師確保が厳しく現状をしっかりと見極めた。西郷病院としては、現状維持の人工透析治療をする。

【問】美郷町には二十六名の人工透析患者がいる。西郷病院は県のへき地拠点病院の指定を受け、美郷町十二名、諸塚村三名、椎葉村一名、計十六名が人工透析治療をしている。町内すべての患者が西郷病院での人工透析の治療ができないか。



新玉 卓教 議員

人工透析について

【答】プール使用には差し支えない。指摘箇所については補正予算で対応したい。

【問】美郷南・北学園の整備について
①美郷南学園のプールの新設はできないか。

【答】プールについては、建築費、財政的見地から必要性を顧慮しても、旧村単位では考えていない。南郷・北郷の屋内体育施設は、今後検討事項として捉えていく。

【問】屋内体育施設について
合併して十年になる。西郷には「スパーク西郷」がある。南郷・北郷の屋内体育施設の必要性についての認識を伺う。

【答】箱物については、建築費、財政的見地から必要性を顧慮しても、旧村単位では考えていない。南郷・北郷の屋内体育施設は、今後検討事項として捉えていく。

【問】屋内体育施設について
合併して十年になる。西郷には「スパーク西郷」がある。南郷・北郷の屋内体育施設の必要性についての認識を伺う。

【問】社会保障・番号制度について
マイナンバー制度は、現在年金を受給されている方々は、通知カ

【答】農林業の担い手確保、また人口対策の一環として重要な事業と考える。本年度は、十月、十二月、二月の三回を計画しており、十二月の事業は三十五才以上の方を対象に行う予定である。町内の男女に限定ということは、今後実行委員会とも話しを進めていきたい。国の事業が縮小した場合でも、町の方でしっかりと継続していく。

【問】婚活支援事業は地域活性化、人口対策の最たるものだと思うが、町長はどのように考えるか。また、参加者の年齢を定めて行う必要もあると思われるし、町内の独身男女に限定して、事業を行ってみる必要もあると思うが、考えを伺う。

【答】婚活支援事業は地域活性化、人口対策の最たるものだと思うが、町長はどのように考えるか。また、参加者の年齢を定めて行う必要もあると思われるし、町内の独身男女に限定して、事業を行ってみる必要もあると思うが、考えを伺う。



園田 義彦 議員

婚活支援事業について

提出された議案と審査結果

(第3回定例会 9月4日～17日)

議案番号	議案名	審査結果
議案第63号	美郷町空家等対策の推進及び空家等の活用に関する条例	可決 (全員一致)
議案第64号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決 (全員一致)
議案第65号	美郷町手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決 (全員一致)
議案第66号	美郷町営住宅条例の一部を改正する条例	可決 (全員一致)
議案第67号	平成27年度美郷町一般会計補正予算(第2号)	可決 (全員一致)
議案第68号	平成27年度美郷町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決 (全員一致)
議案第69号	平成27年度美郷町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決 (全員一致)
議案第70号	平成27年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決 (全員一致)
議案第71号	平成27年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決 (全員一致)
議案第72号	平成27年度美郷町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決 (全員一致)
議案第73号	平成27年度美郷町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)	可決 (全員一致)
議案第74号	平成27年度美郷町国民健康保険病院事業会計補正予算(第2号)	可決 (全員一致)
議案第75号	工事請負契約の締結について	可決 (全員一致)
認定第1号	平成26年度美郷町一般会計歳入歳出決算認定について	可決 (全員一致)
認定第2号	平成26年度美郷町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決 (全員一致)
認定第3号	平成26年度美郷町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決 (全員一致)
認定第4号	平成26年度美郷町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決 (全員一致)
認定第5号	平成26年度美郷町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決 (全員一致)
認定第6号	平成26年度美郷町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決 (全員一致)
認定第7号	平成26年度美郷町国民健康保険診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決 (全員一致)
認定第8号	平成26年度美郷町国民健康保険病院事業会計決算認定について	可決 (全員一致)
議案第62号	美郷町特定個人情報保護条例	可決 (全員一致)
請願第3号	川内原発再稼働について公開住民説明会を求める請願	不採択(賛成多数)
請願第4号	TPP交渉に関する請願	継続審査(賛成多数)
請願第5号	米価暴落対策の意見書を求める請願	継続審査(全員一致)
発議第2号	美郷町議会会議規則の一部を改正する規則	可決 (全員一致)
発議第3号	森林整備事業予算の拡充についての意見書	可決 (全員一致)

表決結果(※上記結果のうち全員一致を除く) ●反対

議案名	議員名										
	那須富重	尾上忠保	黒田仁志	富井裕瑞	森田久寛	甲斐勲一	新玉卓教	園田義彦	小路文喜	小田照男	甲斐秀徳
請願第3号 川内原発再稼働について公開住民説明会を求める請願									●		
請願第4号 TPP交渉に関する請願									●		

ドが送付されて来ても、特に手続きの必要は無い。また、来年の二月以降、初めて年金を受給する方は、通知カードの番号が必要な事等の理解が進んでないようである。なお、個人番号カードは、情報流出の不安もあり、必ずしも申請する必要は無いと思われるが、考えを伺う。

【答】制度が始まったばかりであり、職員も研修等を行い、毎月の巡回等で特に高齢者への説明を行っている。通知カードについても、まず保管するような注意喚起も行っていききたい。

在宅介護支援について



小田 照男 議員

【問】今後とも高齢者が増加するに伴い、介護を要するお年寄りが増えることが予想されるが、特別養護老人ホーム等施設の増設は見込めず、在宅介護が増加することか

ら、介護者、家族の介護負担を軽減することは重要である。

①そのために条例に定める介護手当を増額する考えはないか。

【答】介護手当が介護者の負担軽減につながるっているのか、また、一度手当額を上げると下げることが困難等問題もあり、現段階では考えていないが、問題点を十分検討しながら、介護者の負担軽減を図れるよう施策を進めていく。

②介護者、家族の負担を軽減するには、一時的に介護から解放されることが必要である。施設等の短期利用をしやすいするため自己負担の助成はできないか。

【答】十分理解できるが、そうすることでロングショートと呼ばれる長期間の利用が増え、本来の利用サービスを阻害することが心配されること等があり、今は支援は考えていないが、今後、検討課題としたい。

③現在、将来を含めて極めて深刻に考えなければならぬのが、老老介護の対策や支援と考える。介護手当の増額、また、施設の短期入所について、利用回数増と自己負担の助成、さらに要介護度の緩和等特に手厚い支援は考えられないか。

今後の町政運営について



黒田 仁志 議員

【問】今後の町政運営について（財政面を考慮して）伺う。

①今後合併特例による交付金の算定替え措置の終了期間を迎え、一本算定となっていく、ますます厳しくなる本町の財政面の見通しを伺う。

【答】平成三十三年には完全な一本算定となり、本年度ベースで普通交付税が八億円ほどの減少となる。財政は健全化に近づいているが、今後とも、職員の定員管理や補助金改革などを行い、財政健全化に努める。

②団体補助金、事業補助はどうなっていくのか。

【答】既成の枠にとらわれず、ゼロベースで再考していく。地方創生の取り組み等を考慮し、選択と集中の考え方も持ちながら一つ一つの補助金を町民と対話しながら、

【答】現在の介護手当においては、介護者の年齢等特に考慮していない。公平公正な助成を考慮しながら、内部で検討していきたい。

④特別養護老人ホーム等に余裕がなく入所が困難という中で、どうしても施設入所が必要という高齢者のために、遊休町有地を活用する等して、介護付有料老人ホームの誘致は考えられないか。

【答】介護付有料老人ホームは、一般的に利用料が高く、低所得者向けではなく、また、土地の斡旋、提供も必要となり、今のところ考えていないが、民間法人等から話があれば前向きに取り組んでいく。

美郷ならでの町のしくみについて



森田 久寛 議員

【問】二千四十年までに全国の自治体の約五割に当たる八百九十六もの市町村が消滅する可能性がある

マイナンバー制度について



小路 文喜 議員

【問】マイナンバー制度は登録される情報の多さからプライバシーの保護の問題、不正取得やなりすまし犯罪等危険が指摘されている。このような制度を自治体で管理するのは問題があると考ええる。

【答】情報の保護に万全を期したい。

【問】地元野菜等の町内消費拡大やゴミ収集等町内業者への委託等でお金が町内を循環するような政策の実施が必要と考える。

【答】なるべく町のお金は、町内で回るようにしていきたい。

【問】高齢者の皆さんの生活を守る立場から、現行の商品券制度（三割増）を見直して、高齢者に給付型商品券の発行が必要と考える。

【答】高齢者に対する給付型の商品券は考えていない。

【問】人口対策、子育て支援、貧困

り、県内でも本町を含む十五市町村がそれに該当すると言われている。できれば美郷町として存続するよう今から対策を講じておくのが我々の務めであると考えますが、その対応策として、どのような将来像を描いているのか。

【答】国では昨年十一月に「まち・ひと・しごと創生法」が成立、本町でも法律成立と同時に町の創生本部を立ち上げ、幹事会や課を横断した若い職員で構成するワーキンググループを設置、また、住民代表を構成員とする「美郷町まちづくり懇話会」を開催しているところである。現在は、美郷町人口ビジョンの素案を各方面に示し、議会にも今会期中に示し、これらを踏まえて、将来に亘って在るべき美郷町の方向である「美郷町総合戦略」の策定を住民と一体となって取り組んでいく。



町の将来を担う子どもたち

対策等諸々の立場から学校給食の無料化や家賃軽減対策を講ずる等の政策を実施する必要があると考ええる。

【答】給食費の二十五パーセントの負担は妥当な額であり、無償化は考えていない。家賃対策については、子育て支援を含め検討したい。

美郷トンネルについて



富井 裕瑞 議員

【問】昨年の十二月のトンネル開通以来、多くの効果と今後の課題が見えたと思う。町の今後の取り組みについて伺う。

①時間短縮は元より町内外の人の交流・経済効果が有る様に感じる。今後トンネル効果をどのように進展させるのか。

【答】美郷町が北郷から南郷まで大きな幹線道路で結ばれ、農林業・商業・文化・教育・医療・福祉等あらゆる面で、活性化が促進する

委員会活動

■総務常任委員会

- 調査日及び目的
平成27年7月22日（水）西郷区長会との意見交換
平成27年8月21日（金）北郷区長会との意見交換
- 参加者
総務常任委員ほか関係議員・各支所担当職員・議会事務局
- 調査の結果・考察
各常任委員長より、それぞれの所管事務や地方創生への町の取組みについて説明後、各区長と地方創生について意見交換を行った。空き家問題、婚活への支援等多岐にわたる意見が出された。今後とも地域の実状をよく知る区長の意見を伺いながら地域を見直す取組みを進め、魅力ある美郷町を創生すべきと考える。



■文教厚生常任委員会

- 調査日及び目的
平成27年7月27日（月）美郷町社会福祉協議会の活動状況と課題
- 参加者
議長・文教厚生常任委員・社会福祉協議会担当職員・議会事務局
- 調査の結果・考察
社会福祉協議会所管事務事業の取組み、活動状況について説明を受けた後、抱える課題等について協議を行った。高齢社会における独居高齢者、訪問介護対策や行政からの受託事業運営等地域福祉の推進に大きく貢献していることが伺えた。独自事業を展開し、更なる福祉サービスの向上を図る上でも、行政による応分の財政支援が必要であると考える。



■産業建設常任委員会

- 調査日及び目的
平成27年7月1日（水）町内農林業の現状と課題等について
- 参加者
議長・産業建設常任委員・副町長以下関係課職員・日向農協関係職員・議会事務局
- 調査の結果・考察
町内の主要農産物の生産量、生産額の概要について農協の説明を受けた後、全般的事項について意見交換を行った。若者の能力を活かした農林業の支援や、生産性が高く、期待される作目に対する町全体での取組みの推進の必要性等意見が出された。農林業の振興を図るためにも、日頃から町と農協が連携して、連絡を密にし、生産指導や流通の拡充に努める必要がある。



現地調査 = 9月定例会会期中、平成26年度決算等の執行状況確認のため、現地調査を実施しました =

- 【調査の対象】
- ①商工業サポート振興事業 ②被災農業者向け経営体育成事業（雪害被災生産施設） ③急傾斜崩壊対策事業
 - ④みやざき次世代果樹ブランド産地育成強化事業 ⑤地域防災強化事業（危険木除去費補助）



雪害被害生産施設整備（北郷地区）



きんかんハウスフルオープン整備（西郷地区）



商工業サポート振興事業（北郷地区）



中山間地農業振興対策について

甲斐 秀徳 議員

【問】 T P P 締結対策について
国は、T P P 締結交渉を進めている。美郷町の農業に対してどのような影響が考えられるか。また、町としては、どのような対策を講じるのか。

【答】 重要五品目の内、主に米、牛肉等に影響があると推測する。国の対策を受けて、町としてもしっかりと対応する。

【問】 着実に農業生産販売は伸びてきており、新規就農者（担い手）も少しずつ育ってきていると感じる。将来においても担い手、後継者を育てる施策のもとに施設園芸、畜産を中心とした振興を図る。今後、過疎高齢化による担い手不足により、農家戸数、栽培面積の減少が危惧されるので、現在地方創生戦略の中で対策を練っている。

【答】 まずは各部会でのしつかりとした指針の元に行政もサポートしていく。

【問】 農協との事業協力についてはご承知の通りであるが、農協との連携は農業振興の関連で非常に大切であるので、今後ともしつかりとした連携のもとに取り組む。

【答】 担い手の育成、確保対策に今後とも努めていくとともに、設立についても推進していく。

【問】 この事業は昨年始まったばかりで、県自体においても集約状況は良くない。集落単位で集積することにより、地域集積金が交付される。町としても重点モデル地区を十二地区設定（南郷三地区・西郷三地区・北郷六地区）をして、関係機関と連携し推進する。

【答】 農業振興を図る上で必要であり、団地化は構想にある。まちづくり懇話会の中でも意見が出ていますので、その方向で今後進めたい。

【問】 経営開始型と準備型の制度からなっている。経営開始型で六名の方が受給している。年間百五十万円まで五年間受給出来るので担い手の方はぜひ利用してほしい。準備型は県の事業で農業大に就学中の一名が受給している。

【答】 経営開始型と準備型の制度からなっている。経営開始型で六名の方が受給している。年間百五十万円まで五年間受給出来るので担い手の方はぜひ利用してほしい。準備型は県の事業で農業大に就学中の一名が受給している。

【問】 着実に農業生産販売は伸びてきており、新規就農者（担い手）も少しずつ育ってきていると感じる。将来においても担い手、後継者を育てる施策のもとに施設園芸、畜産を中心とした振興を図る。今後、過疎高齢化による担い手不足により、農家戸数、栽培面積の減少が危惧されるので、現在地方創生戦略の中で対策を練っている。

【答】 まずは各部会でのしつかりとした指針の元に行政もサポートしていく。

【問】 農協との事業協力についてはご承知の通りであるが、農協との連携は農業振興の関連で非常に大切であるので、今後ともしつかりとした連携のもとに取り組む。

【答】 担い手の育成、確保対策に今後とも努めていくとともに、設立についても推進していく。

【問】 この事業は昨年始まったばかりで、県自体においても集約状況は良くない。集落単位で集積することにより、地域集積金が交付される。町としても重点モデル地区を十二地区設定（南郷三地区・西郷三地区・北郷六地区）をして、関係機関と連携し推進する。

【答】 農業振興を図る上で必要であり、団地化は構想にある。まちづくり懇話会の中でも意見が出ていますので、その方向で今後進めたい。

【問】 経営開始型と準備型の制度からなっている。経営開始型で六名の方が受給している。年間百五十万円まで五年間受給出来るので担い手の方はぜひ利用してほしい。準備型は県の事業で農業大に就学中の一名が受給している。

【答】 経営開始型と準備型の制度からなっている。経営開始型で六名の方が受給している。年間百五十万円まで五年間受給出来るので担い手の方はぜひ利用してほしい。準備型は県の事業で農業大に就学中の一名が受給している。

定例会のご案内

定例会会期日程、一般質問通告一覧を掲載しておりますのでご覧ください。
*美郷町ホームページ(URL) <http://www.town.miyazaki-misato.lg.jp/>
*きららびじょん文字放送(12ch)

9月定例会には、ご多用の中、60名の方に傍聴にお越しいただきました。ありがとうございました。

傍聴席へどうぞ!! お問い合わせは議会事務局へ (電話66-3607)

次の定例会は、12月9日開会予定です。

9月定例会 傍聴者から
傍聴のご感想、ご意見をいただきましたので、ご紹介いたします。
○70歳で初めて傍聴させていただきました。これも行政と高齢者学級の活動のおかげだと感じております。ありがとうございました。
○傍聴に行きたくても仕事の都合のつかない方が多いようです。「きららびじょん」での放映はできないのでしょうか。(⇒役場新庁舎建設に併せて検討中です。)

~傍聴アンケートへのご協力ありがとうございました~

議 会 活 動

7月

- 1日／県道・宇納間日之影線整備促進期成同盟会総会
産業建設常任委員会所管事務調査
- 3日／国道388号整備促進期成同盟会総会
- 6日／新議員研修会
- 7日／第55回入郷地域開発期成同盟会総会
- 8日／日向東白杵広域連合議会
- 9日／平成26年度決算審査（～8/11）
- 13日／九州中央自動車道建設促進沿線議会期成会理事会
- 15日／入郷地域開発期成同盟会県出先機関要望
- 21日／人吉・日向間一般国道整備促進期成同盟会総会
例月現金出納検査
- 22日／東白杵郡内定例議長会（～23日）
総務常任委員会（西郷区長会との意見交換会）
- 24日／高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会総会
第38回みすず会総会
- 27日／文教厚生常任委員会
- 28日／東白杵郡町村議会議員研修会
- 31日／耳川広域森林組合合併15周年記念祝賀会
議会運営委員会正副委員長研修会



第55回入郷地域開発期成同盟会総会



西郷区長会との意見交換会

8月

- 3日／議会運営委員会・全員協議会・第1回臨時会
九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会総会・決起大会
- 4日／県自治会館管理組合議会第2回定例会
- 6日／正副議長研修会・地方行政問題協議会
- 7日／入郷地域開発期成同盟会県本庁要望活動
日向市・東白杵郡町村議会議長連絡会要望活動
- 17日／国道388号整備促進要望活動
- 19日／みやこ町議会行政視察
- 20日／日向市・東白杵郡町村議会議長連絡会要望活動
森林・林業活性化議員連盟連絡会議総会・勉強会
- 21日／総務常任委員会（北郷区長会との意見交換会）
例月現金出納検査
- 24日／平成26年度決算審査意見書提出
- 28日／議会運営委員会・全員協議会
- 31日／県道宇納間日之影線整備期成同盟会要望活動



東白杵郡町村議会議員研修会



九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会総会

9月

- 1日／県町村議会議長会役員・監事合同会
- 4日／第3回定例会（～17日）
- 18日／総務常任委員会（南郷区長との意見交換会）
- 24日／例月現金出納検査
- 28日／議会広報特別委員会

編集後記

今夏は梅雨前からの長雨や相次ぐ台風の襲来など、農作物への影響が懸念されましたが、無事収穫期を迎えられ、安堵しているところです。

さて、今回の議会は、平成二十六年年度の決算認定が大きな議題でありました。職員は、限られた予算の中で、町民の安心安全の為に努力をしている様子がよく解り感心したところです。

しかし、来年度からは、合併特例期間が終了し、次第に交付税が減少していくとのことで、益々創意工夫をしながら、頑張っていたかなければなりません。

また、今回から、委員会審査の様子の傍聴も呼び掛けたところですが、一般質問の傍聴には大勢いらしていただきましたが、なじみがないせいも、委員会の傍聴者は二名のみとなりました。

より住民の皆様に近い議会を目指しており、多くの方の傍聴をお願い致します。

議会としても、きめ細やかな案内に努め、皆様のご来場をお待ちしております。

（編集委員）

委員 長	黒田 仁志
副委員 長	森田 久寛
委員	那須 富重
委員	甲斐 秀徳
委員	甲斐 栄

〓ご意見をお寄せください〓